

# 同窓会報

■発行/同窓会事務局 〒935-8535 氷見市幸町17-1 氷見高等学校内 Tel0766-74-0335 Fax0766-72-8136  
ホームページアドレス <http://www.7b.biglobe.ne.jp/reiho/index.html>

## 平成20年度 同窓会総会



## 同窓生の集い開催お礼



同窓会会長  
細川 勝行



同窓会副会長  
土屋 治

2年前に伝統ある氷見高校の創立80周年を稲穂佐一前会長と会員皆様のご協力のもと無事終え、それを機に細川勝行新会長を迎えた新体制で世誼方も新たなスタートを切りました。

多くの会員とのふれあいを大切にされる会長は、東京、そして大阪・氷見高校同窓総会も訪ねられた時の感想に、地元氷見でも今回はパーティ形式のたのしい懇親会を考えよと細川カラーの意向を示されました。

毎年、総会には多くの同窓生が集い語らいの時間を過ごしてきましたが、集う皆さんがもっと楽しい時間をと、従来の形にアトラクションも加える企画を考えてみました。懇親会「同窓生の集い」では、氷見の屋台骨としての氷見高校同窓会であると挨拶をいただいた堂教頭長始め、多くのご来賓をお迎えしました。澤中幹夫校長のご挨拶をいただいたオープニングに初の試みとして在校生の活動発表としてのブラスバンド演奏に始まり、その後の、女性ボーカルグループ・グラバによる聞きなれた選曲でのミニコンサートにも終始ご満足いただけたと思います。

この企画から運営に至るまで多大なご尽力をいただいた事務局の吉野さん始め学校からもご協力いただいた同窓会担当の仲川・金田・室田先生によるビンゴ大会も地元の豪華な製品を取り揃え皆様には喜ばれたことでしょうか。そして、ノリの良いところで氷見中学校校歌・氷見高校校歌・そして部活のB有志による凱歌と、まさに肌で感じる同窓会の集いでございました。

細川会長が就任されたときに、同窓会報発行とともに多くの方々からお寄せいただいたご厚情により、今回のアトラクションなどの企画を組むことができ、こちらも同窓会員の皆様には感謝しております。今回の企画を催すにあたり、多くの方々のご出席とご協力をいただき、この場をかりてお礼申し上げます。また、今回の総会の模様は、会長の意向で立ち上げられた氷見高機同窓会のブログにも掲載され、当日の模様が写真で閲覧もできます。これから同窓会も細川会長のもと会員の皆様方のご支援をいただきながら多くのふれあいを大切にしていきたいと思います。同窓会の皆様よろしくお願ひします。そして、今年度の総会も滞りなく終え、皆様にご報告できましたことに感謝します。



## 明るく勢いのある氷高に

校長 澤 中 幹 夫



同窓会の皆さまには、日頃から本校の教育活動にご理解、ご協力を賜っておりますこと、厚くお礼申し上げます。

さて本校は、現在、1学年普通科4クラス、商業科1クラスです。皆で、日々の授業や部活動、学校行事等に精一杯チャレンジし、明るく勢いのある学校にしようと、気持ちを新たに取り組んでいます。ここに、その取組の一端をご紹介したいと存じます。

**その一** 「笑顔と挨拶がすてきな学校ですね。」あるお客様からお褒めの言葉をいただきました。本校ではここ数年、「氷高さわやかディ」と称し、朝の挨拶運動を実施しています。今年、月2回のこの活動に各クラス単位でも参加してくれています。笑顔と挨拶は、コミュニケーションの第一歩。身体を鍛えれば筋肉が強くなるのと同様に、顔かたちも言葉づかいも、心身の働きによって良くなっていくものです。私は、「笑顔と挨拶」を本校の宝としたいと考えています。

**その二** 学力向上は「学ぶ意欲」からと、分かる授業の展開と進路意識の向上に力を入れています。このため、小テストや質問教室、添削指導等日々のきめ細やかな指導に心がけるとともに、富山県立大学と連携して専門的な科学実験を行ったたり、氷見市内の商店や企業の協力のもと就業体験を行ったりしています。また、職業に対する理解を深めるため、金融・ビジネス系、公務員系、福祉・医療系、IT系等の職場で働いておられる方々(保護者、同窓生等)の話聞く進路講座も実施しています。

**その三** 進路面では、普通科においては7割程の生徒が4年制大学へ進学しており、中には、横浜国立大学、大阪大学、明治大学、法政大学、同志社大学と難関校にチャレンジし合格している生徒もおります。商業科は進学6割、就職4割というところで、就職については100%の実績を保っております。いずれにしても、生徒たちの夢と希望をかなえることの

出来る学力を付けさせたいと日々努力しています。

**その四** 「獅子奮迅!今年の夏は氷見にあり!」のテーマで取り組んだ体育大会は、それぞれ工夫した新しい団旗のもと、リレー、タイヤ争奪戦や棒倒しなどで各団の勢いを十分見せてくれました。また、氷高祭は、「Heart To Heart～信じることでつながる明日へ～」のテーマで、1年のコーラス、2年の展示、3年の模擬店、各文化部の発表とそれぞれ試行錯誤を重ねながらみんなで力を合わせて取り組んでくれました。私のモットーである「明るく、楽しく、真剣に」を具現してくれた一日でした。

**その五** 部活動では、これまで北信越大会など県レベルを超える大会に、自転車部、男女のハンドボール部、女子バレーボール部、ソフトテニス部、水泳部、吹奏楽部、また新チームでは新たに野球部が出場しています。さらに、ハンドボール部はこの春の選抜にアベックで出場を決めています。試合には勝ち負けが伴います。いつも勝って満足というわけには行きませんが、納得できる戦いをして欲しいと願っています。

このような取組を通じて、これから生徒たちが生きて行くことになる、変化の激しい、先行き不透明な、厳しい時代を、意欲を持ってたくましく生き抜いていくための基礎となる力、すぐれた知性、豊かな心、健やかな体を本校で身につけて欲しいと願っています。

次に、高校再編の動きについてお知らせいたします。「963名」、「448名」、平成元年と平成20年の氷見市内中学3年の生徒数です。この間、47%減になっています。県立高校の小規模化が進む中で、県教育委員会において、より良い学習環境をつくるため県立高校の再編統合が検討され、昨年3月に「有磯高校と氷見高校」を含めて5件の再編計画が公表されました。氷見市内の2校の統合は大変残念なことですが、今後は、2校の良いところを継承し、そこに学ぶ生徒の満足度が高い、そして中学生にとって魅力のある学校となるよう、よく考えて努力してまいりたいと存じます。現在までの検討状況は、下記の通りです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

### 氷見地区新高等学校の概要

- (1) 新入生の受け入れ 平成22年4月  
その際、在校生は卒業まで入学した学校の校舎等で学習
- (2) 設置場所 氷見高校の校舎等を活用し設置
- (3) 学校規模 1学年7学級(280名)
- (4) 学科構成

| 普通科                      | 農業科      | 海洋科      | ビジネス科    | 生活福祉科    |
|--------------------------|----------|----------|----------|----------|
| 4学級(160人) ※この内1学級程度、文理探究 | 1学級(40人) | 1学級(40人) | 1学級(40人) | 1学級(40人) |

- (5) 魅力ある学校づくりのための仕組み
  - ・進路希望等に応じて、多学科の専門科目も学習できます。
  - ・全生徒が、地域などについて共通に学ぶ科目を設定します。
  - ・職業意識の向上や社会性の育成を図るキャリア教育を充実します。



## 同じ釜の飯を食う



氷見高校同窓会関東支部  
会長 扇内 秀樹

氷見高校同窓会関東支部は昭和59年10月6日に発足し、昨年25周年という節目の総会、会員懇親会を約80名の参加のもと開催しました。

本会は母校氷見高校への熱き思いを首都圏在住の同窓が、同じ釜の飯を食った者として相互の有機的な交流の場として、また母校の発展に少しでも寄与できればという願いも込め、ハンドボール部OBの方々が中心となり結成されました。以来毎年10月に母校の学校長、同窓会会長あるいは恩師の先生をお招きし総会、懇親会を開催してまいりました。参加者は多いときで100余名の時もありましたが毎年70~80名位です。定着化、安定化はややもすれば高齢化とともに参加者減少ということにもなり若い人の参加が増えないのが悩みです。40代以下の若い(?)同窓に参加を呼びかけても同期会やクラス会なら仲間意識もあり懐かしく出席しようと思うが、同窓会となると年配者ばかりで知っている人もいないからつま

ないよ!などと敬遠されがちです。同窓会や県人会、同郷会の類は、どこの会も高齢化し参加者の減少に悩んでいるようです。ある程度の年齢にならないと望郷の念にかられないのと同じでしょうか。若いうちから色々な人と知り合い多くの人脈を持つことは社会生活においても、人生においても形のない貴重な財産ではなからうか。それには同窓会は最も身近な“同じ釜の飯を食った者”同志と思うのですが。“同じ釜の飯を食う”とは、いしょに生活し、苦楽を分かち合った親しい友人関係をいう(広辞林)とあるが、親しい友人でなかった知人でもなかったとしても同じ所で学び、遊び仕事をした仲間と広義に解釈したい。私は22年間大学教授として教室、医局を主宰し、毎年若い研修医を入局させてきましたが、「君たちもこれから私どもと同じ釜の飯を食う仲間である。」と言うと、「“同じ釜の飯を食う”って何ですか?」と言う。これはもう20年以上前の話ですが、もうこの言葉は死語かと思ったものです。このような“同じ釜の飯を食う”も知らない若い人たちが、高齢者の集う会と思われがちな同窓会にどのようにすれば参加してもらえるのか大きな課題です。今後も若手諸兄姉に参加を呼びかけあい、本会が母校氷見高校発展のための応援団であり、よりよい会員懇親の場となりますことを願って前進したいと思います。

## 『刺身のつま』

小 境 義 治 (中学七回卒)

昭和13年3月、旧制氷見中学校を出たと云うよりも出して貰った私は、健康にも恵まれ89歳を迎えた。

62名の仲間も70年の歳月を経て残るは僅か10余名、戦前戦後を生かされてきたが、今は最後の日を待つばかりである。

中学七回卒には東大出の茶谷一男氏、京大出の屋敷平州氏がいる。私は「唐島の燈台出である」と、大いに両氏を仕事(氷見新聞)の上で利用させて貰ったものである。

又、仲間に僧侶が8人、神主が1人、事ある如に「おらっちゃん何時死んでも大丈夫ヤ!」と、話題に事欠くことが無かった。

卒業当時は已に日支事変<sup>すて</sup> 酣<sup>たけなわ</sup>であり、氷見駅での出征軍人の見送りが続き、大戦への増城<sup>はま</sup>へ<sup>むつ</sup>嶺りつ、あった。

卒業後は互いに相見える事もなく、戦地で銃後で只管その道を歩み続けたのである。

昭和20年8月15日終戦となったが、お互いの人生は紆余曲折<sup>うよまひく</sup>、戦後の厳しい生活が続いた。臆て暮らしの中に明るい兆しが見え始め、有志の中からクラス会をの声が上がった。

そこで私ら数人が世話役となり昭和22年の春、恩師鍋田遠代三先生を迎え、譽一山荘で戦後初のクラス会を開いた。当時の資料は散逸、ここで紹介出来ぬのが残念である。

雑談中誰かが、会の名称は「氷七会」、会長不要、世話人が運営する、会は毎年開く等を提案、全員賛成で細部を約し

て解散した。

其の後氷七会は平成19年まで、毎年のように恩師を迎えて会を開き、互いの健在ぶりを確かめ合ってきたが、同年の晩秋世話人の田畑義雄氏が逝去、私ひとりではどうにもならず、残念だったが会の歴史を閉じることにした。

彼とは二人三脚で氷高同窓会の役員として協力し合っただけに思い出は尽きない。

何時か会のあと、拙宅でお茶を飲んだとき、茶谷氏が「小境君ちゃ刺身のつまやネ」「彼のおかげで毎年会を開く事ができた」と、言葉は荒いがこれ迄の労を犒<sup>ねが</sup>ってくれた。

傍らにいた家内が「やっぱり東大出やネ」と笑った。

“生涯を刺身のつまで甘んじる” よしはる



昭和22年春 第一回氷七会 譽一山荘にて



## 関東支部だより

第25回関東支部総会及び懇親会は10月5日(日)一ツ橋の如水会館に於いて開催されました。

ご来賓として、同窓会本部から吉野耕三事務局長、母校より澤中幹夫校長先生、室田忠央先生、恩師の元教諭の円山清先生、東京富山県人会連合会から一宮宗昭常務理事、東京氷見会から大橋隆之会長、矢代弥六幹事長、北日本新聞社東京支社堀井政彦氏のご臨席を賜り、総勢80名が参加し、にぎやかな集いとなりました。

第一部、総会は船木昭二常任幹事(高29回生)の司会で始まり、物故会員のご冥福を祈って黙祷を捧げた後、扇内秀樹会長(高13回生)の関東支部創設に当たり諸先輩方の苦労話や若い世代の会員の参加が少なく、「同窓会の活性化が課題である」との挨拶がありました。

引き続き、新堂弘会計幹事(高20回生)より会計報告、菅沢不二夫会計監査(高18回生)より会計監査報告がなされ、全員の拍手で承認されました。

第二部では、ご来賓の紹介とご挨拶をいただき、校長先生からは、県立高校の再編統合で有磯高校と氷見高校による新高校(氷見高校の校舎を活用)の概要や大学合格状況、就職状況、部活動の記録等氷見高校の活躍の様子をお話いただきました。

第三部、懇親会は市田稔顧問(高2回生)の乾杯のご発声前、新制氷見高等学校の発足(昭和23年4月)と氷見高等女学校、氷見農業水産高校との併合(同年7月)当時、「大勢の女学生が山の学校へ登って来たのが思い出深い」とのお話がありました。

乾杯の後、各々のテーブルや懐かしい仲間のテーブルに移動して、バイキング料理を肴に益も程よく回り歓談の輪が広がりました。

恒例の大抽選会(ビンゴゲーム)では、久保仁常任幹事(高19回生)の流暢な司会で、事務局が準備した景品に加えて、多くの同窓生から寄付され豪華景品で、大いに盛り上がりました。

校歌斉唱は、シャンソン歌手浜本京子さん(高20回生・真吹杏子)のリードで全員声高らかに歌いました。

最後は、扇内会長と澤中校長先生による万歳三唱のエル交換、柴右子副会長(高13回生)の閉会のことばがあり、来年の再会を誓い合いました。

各自同窓会本部からいただいた「蒲鉾」、JA氷見から提供された「氷見米」、支部が準備したお土産「ぎんなん餅」、場内の物産店から買った氷見物産品など、大きな袋に詰め込んで望郷の思いを胸いっぱいにして帰路に着きました。

来年も多くの会員が集い、盛大な総会となるよう祈念して報告いたします。副会長 谷野 洋(高13回生)

氷見高等学校同窓会関東支部



## 関西支部だより

### 《第24回総会・懇親会》

関西支部会では平成20年4月20日、澤中幹夫氷見高校校長、細川勝行同窓会会長、金田浩人氷見高校教諭、窪田豊之有磯高校同窓会関西支部会会長らのご来賓の臨席を得て、第24回総会と懇親会を、大阪市阿倍野区の天王寺都ホテルで開催しました。

細川会長からご祝辞を賜りました。同窓会(本部)の現状のご報告や、金沢医科大学氷見市民病院や商業ゾーン建設計画、能越自動車道氷見北インター建設計画等、氷見の現状についてもお話いただきました。

澤中校長からご祝辞を賜りました。氷見高校へ赴任して、素直で純真な生徒が多く、やり甲斐のある学校だなあと実感されたことなどエピソードを添えてお話になりました。進路に応じた学級編成、卒業生の進学・就職状況などのお話や、有磯高校との統合計画の現状についての説明もありました。

関西支部会多胡列会長が、関西支部会が23年間継続してきたことは皆様のお陰で、これからも益々発展させたい、年に一度の総会・懇親会が明日への活力となるよう、来年も是非おいでいただけるよう宜しくお願い致します、と挨拶しました。

懇親会では、ご来賓や会員の胸を打つスピーチと、中島美智・仲次さんの格調高い歌声で癒されました。お楽しみ抽選会では、幹事持ちよりのユニークな景品を獲得して歓声をあげていました。最後にご来賓や会員のカラオケで大いに賑わいました。

### 《第25回グルメの会》

11月9日、源氏物語千年紀記念行事で賑わう京都市の京都ガーデンパレスで第25回グルメの会を開催しました。市内の美術館や博物館を鑑賞されたあと、会場においでの方もいて、京都の秋の一日を楽しみました。長老の石野道夫氏にもご出席いただき、貴重なお話をいただき大いに盛り上がりました。

### 《第41回本部総会・懇親会》

9月21日、氷見グランドホテルマイアミで同窓会本部の総会・懇親会が開催され有志が出席いたしました。氷見高校の吹奏楽部生徒の立派な演奏に感心しました。懐かしい先生方や旧友との歓談、ビンゴ大会など楽しいひと時を過ごしました。

### 《会報番鳥1号の発行》

関西支部会では毎年会報を発行しております。2月末に24号を発行しました。氷見高校からの近況報告、会員の随筆、関西支部会の活動状況、氷見のトピックスなど満載で、総会に出席できない会員からも喜ばれております。

関西支部会は今年4月で25年目にはいります。永年ご協力いただいた母校の皆様、同窓会本部の皆様へ感謝申し上げますと共に今後とも宜しくお願い致します。

(関西支部会事務局記)



## 麗峰グリーン会

氷見高校を卒業された皆様方におかれましては、様々な地域や場面でご活躍の事とお喜び申し上げます。今年度の開催は、平成20年4月29日(火)と8月16日(土)でした。

例年、ゴールデンウィークとお盆に開催しており、参加人数は約60人ほどで、会としてはまだまだ、参加者を募集しております。県外でご活躍されている方、ユーターンでもどられた方、里帰りの方などなど、この会を利用して懐かしい顔を合わせてみませんか?今年も、初参加の方が多数おられ、初参加いきなり入賞、久々の参加の方で賞品ガッポリ、あいつには負けられない、久しぶりどうしてる?でゴルフそっちのけなど、その年代年代で、様々なドラマが繰り広げられました。皆様の参加を心よりお待ちしております。

その他に、「富山県高校OB対抗ゴルフ大会」の氷見高校OBチームのお世話もさせていただいております。我こそはと思われる方、どしどしコンペに参加して、チームに入られてはどうでしょうか。

また、今年より本会会長が髭 義明氏より佐伯鉄夫氏にかわり新たな事務局がスタートします。今まで以上に皆様に喜んでいただけるようがんばっていきたく思いますので、どうか宜しくお願い申し上げます。

### 今年の成績

4月29日(火) 優勝 上田信哉 次勝 小橋賢治 3位 出口正男 4位 星野 勉 5位 中原和幸  
8月16日(土) 優勝 嘉山正之 次勝 澤 聡雄 3位 釣 吉範 4位 室住文雄 5位 大野健朗

詳細につきましてはホームページを御覧ください。

<http://www.e-himii.com/green/>

今後の皆様のご活躍をご祈念申し上げ、ご案内とさせていただきます。

麗峰グリーン会事務局



## 全国高文祭 県代表に選ばれて

2年5組 笹尾 真杏里

書道部は、いつも色々な作品に挑戦しています。夏休みには、1メートル以上を超える作品を市展や青少年美術展に出品し、毎年たくさんの賞を受賞しています。

私は、書道を小学校2年生の時に始め、書の楽しさに惹かれ、今まで続けてきました。水見高校に入学したきっかけも、高校で書道を続けたいという気持ちからでした。

今回、高文祭の書道部門で富山県代表に選ばれ、とても嬉しく思っています。今回挑戦した作品は、臨書の「始平公造像記」と呼ばれ、鋭くて、力強い作品です。縦2メートル40センチで、作品を仕上げるのに、一枚約2時間かかります。最初は、なかなか納得する作品ができず苦勞しました。しかし努力の結果、最高傑作に仕上げることができました。

8月に三重県で行われる全国大会では、普段の練習の成果を発揮できるように頑張りたいと思います。また自分と同じ高校生の作品を観て、これからの作品づくりに生かせるようにしたいと思っています。



### <書道部>

○第20回富山県高等学校文化祭

書道部門 優秀賞 笹尾 真杏里  
※平成21年度全国高文祭出場決定

### <吹奏楽部>

○第49回北陸吹奏楽コンクール

高等学校B部門 銀賞  
○第30回富山県アンサンブルコンテスト高岡支部大会  
打楽器六重奏 金賞

### <バレーボール部>

○第23回リージョンプラザ杯争奪高等学校バレーボール大会

女子の部 第3位

○平成20年度北信越高等学校体育大会バレーボール競技

女子の部 出場

○第56回上越市長議長杯争奪高等学校バレーボール大会

女子の部 第1位

### <ソフトテニス部>

○平成20年度北信越高等学校体育大会ソフトテニス競技

男子の部 出場  
澤武 寿紀・山崎 誠  
女子の部 出場  
吉崎 舞・西向由佳莉

○平成20年ソフトテニスインドア選手権大会

ベスト16  
川本 和希・山崎 誠組

### <自転車部>

○平成20年度北信越高等学校総合体育大会自転車競技

ケイリン 第6位 近谷 涼  
スクラッチ 第7位 近谷 涼  
4km速度競争 中村 晋作

○平成20年度全国高等学校総合体育大会自転車競技

ケイリン 準決勝進出 近谷 涼

## □進学・就職状況

平成20年3月卒業生の進学・就職状況は次のとおりです。

### ●進 学

大学・短期大学等合格者数

| 年 度    | 大学等<br>学 科 | 大 学   |     |        | 短 大   |     |    | 大 学 校 | 専 門 学 校 | 合 格 者 数 計 |
|--------|------------|-------|-----|--------|-------|-----|----|-------|---------|-----------|
|        |            | 国 公 立 | 私 立 | 計      | 国 公 立 | 私 立 | 計  |       |         |           |
| 平成19年度 | 普通科        | 35(2) | 164 | 199(2) | 12    | 20  | 32 | 6     | 34      | 271(2)    |
|        | 商業科        | 3     | 19  | 22     | 0     | 4   | 4  | 0     | 5       | 31        |
|        | 計          | 38    | 183 | 221(2) | 12    | 24  | 36 | 6     | 39      | 302(2)    |

( )は過年度で内数

### ・主な進学先(4年制大学)

国立大…大阪、横浜国立、東京学芸、静岡、帯広畜産、北見工業、山形、新潟、富山  
公立大…富山県立、都留文科、高崎経済、愛知県立芸大  
私立大…明治、法政、東京理科、同志社、関西、立命館

### ●就 職

学科別状況

|     | 男子 | 女子 | 計  |
|-----|----|----|----|
| 普通科 | 2  | 0  | 2  |
| 商業科 | 10 | 4  | 14 |
| 計   | 12 | 4  | 16 |

### ・主な就職先

北陸電力、STプロダクツ株式会社、  
コマツキャスティックス、伏木海陸運送株式会社、  
氷見伏木信用組合



# 平成20年度 部 活 動 主 な 記 録

## <野球部>

- 第61回秋季富山県高等学校野球大会 第3位
- 平成20年度秋季北信越大会 出場



第119回 北信越地区高等学校野球大会

## <ハンドボール部>

- 平成20年度北信越高等学校体育大会
  - 第44回北信越高等学校ハンドボール選手権大会
    - 男子の部 第2位
    - 女子の部 出場
- 第44回北信越高等学校ハンドボール選手権大会
  - 優秀選手賞 古小田 拓朗
  - 笹村 凌
- 第29回北信越国民体育大会 ハンドボール競技
  - 少年男子 第2位
- 第32回北信越選抜予選大会
  - 男子の部 第2位
  - 女子の部 第1位
  - 男女とも全国選抜大会出場決定

## <水泳部>

- 平成20年度北信越高等学校体育大会水泳競技大会
  - 女子100m平泳ぎ 第5位 東海 情満
  - 女子200m平泳ぎ 第5位 東海 情満
  - 女子100m自由形 第7位 中原江梨奈
  - 女子200m自由形 第4位 中原江梨奈
  - 男子200m個人メドレー 第7位 中原 聡希
  - 男子400m個人メドレー 第6位 中原 聡希



埼玉インターハイ



全国選抜北信越予選大会優勝

## 『事務局だより』

まずはじめに、前号発行に併せ実施致しました同窓会運営協力金（＝会報発行協力金）募金につきまして、848名の有志から、総額3,367,500円の協力金を賜りましたことをご報告申し上げますとともに、心より深く感謝申し上げます。

さて今号に、扇内、小境の両先輩から朋友の絆、友愛の機微に触れる題名と趣旨の、味わい深いご寄稿を賜り感謝に堪えない。扇内秀樹東京女子医大名誉教授は、ご存知のとおり口腔外科歯科医学会の泰斗、高校時代は陸上競技部で長距離選手だったと承知している。

高校生当時の扇内先輩に、私たち同じ町内の子供連中は、獅子舞の練習のあとにきまって、光禪寺境内から停車場までの折り返しを走らされたのを覚えている。

私達はそのような先輩に憧れて、町内の、否「氷見のザトベック」と呼ばせていただいた、正に文武両道の人である。

母校の校風は「文武両道」、「質実剛健」、在校生はもとより、再編統合となる新氷見（？）高校生も両校の歴史と伝統を継承し、地域産業、地域社会に有用な人材として、また日本、さらには国際社会の様々な分野で活躍する後輩達が数多く輩出されることを期待する。

将に扇内先輩のような方々を目指して、勉学や部活動に新たな歴史を刻んでもらいたい。

小境義治氏は3年前、NHKテレビの人気番組「鶴瓶の家族に乾杯」に登場し、豪快洒脱で厚い人情、そして素養豊かな文化人ぶりが全国に放映されたのが、今も記憶に新しい。

また寄稿でも触れられた「氷見新聞」を主宰し、市政をはじめ地元に着目したニュースを報道し、客観的且つ率直な評論を執筆、たとえ友人の市長であっても苦言を厭わず不偏不党を貫き、片田舎の極小の地方紙と雖も、民主主義社会を支える真実公正な報道と言論の自由の灯を燈し続けた。

どのような絶品の高級魚であっても「つま」がなければ会席料理どころか赤提灯の一品にすらなりえない。

自らを「刺身つま」と言って憚らない小境さんに私は大いに共感を覚える。

寄稿の末尾に添えられた川柳一句は小境大先輩の心意気と受け止めた。

細川同窓会長は常々、機関誌充実とホームページを核として情報の発信、交流を図り、会員相互の親睦を増進したいと述べており、扇内関東支部会長もまた寄稿で若手の参加を呼びかけ、世代を超えた会員懇親の場を願っておられる。

そのためには同窓会員各位からの寄稿、記事の提供により同窓会報やホームページの内容充実に向けて参りたい。

次号以降は、老・壮・青、各年代の幅広い同窓生兄弟各位からの健筆を期待するとともに、切にお願い申し上げます次第である。事務局員の分際でありながら長々と紙面を費やし、職権濫用をお詫び申し上げて同窓会報第19号をお届けする。

事務局長 吉野耕三